

名称	銃器庫
建築年代	昭和 9 年から昭和 12 年までの間に設置
構造	・構造は鉄筋コンクリート造平屋建、内部は木造二階建の棚床が設置されている。 ・建物東側には戦後の後補と考えられるトタン小屋が付属していたが、現在は除去されている。 ・建物南側の出入口2ヶ所には引き戸となっている。 ・現在、内部には木製棚や戸棚等が残置しており、表面採取や試掘調査で得られた遺物等を一時的に保管している。木造の棚床は戦前の戦前から設置されていたとする証言がある。
用途	発射場で使用した小火器類を保管した建物と考えられる。
特徴	・建物西側・東側の窓部分に1台ずつ、南側の出入口2ヶ所に1台ずつシャッターが設置されているが、東側の窓部分はシャッターが除去されている。



外観



室内



室内に残るシャッター